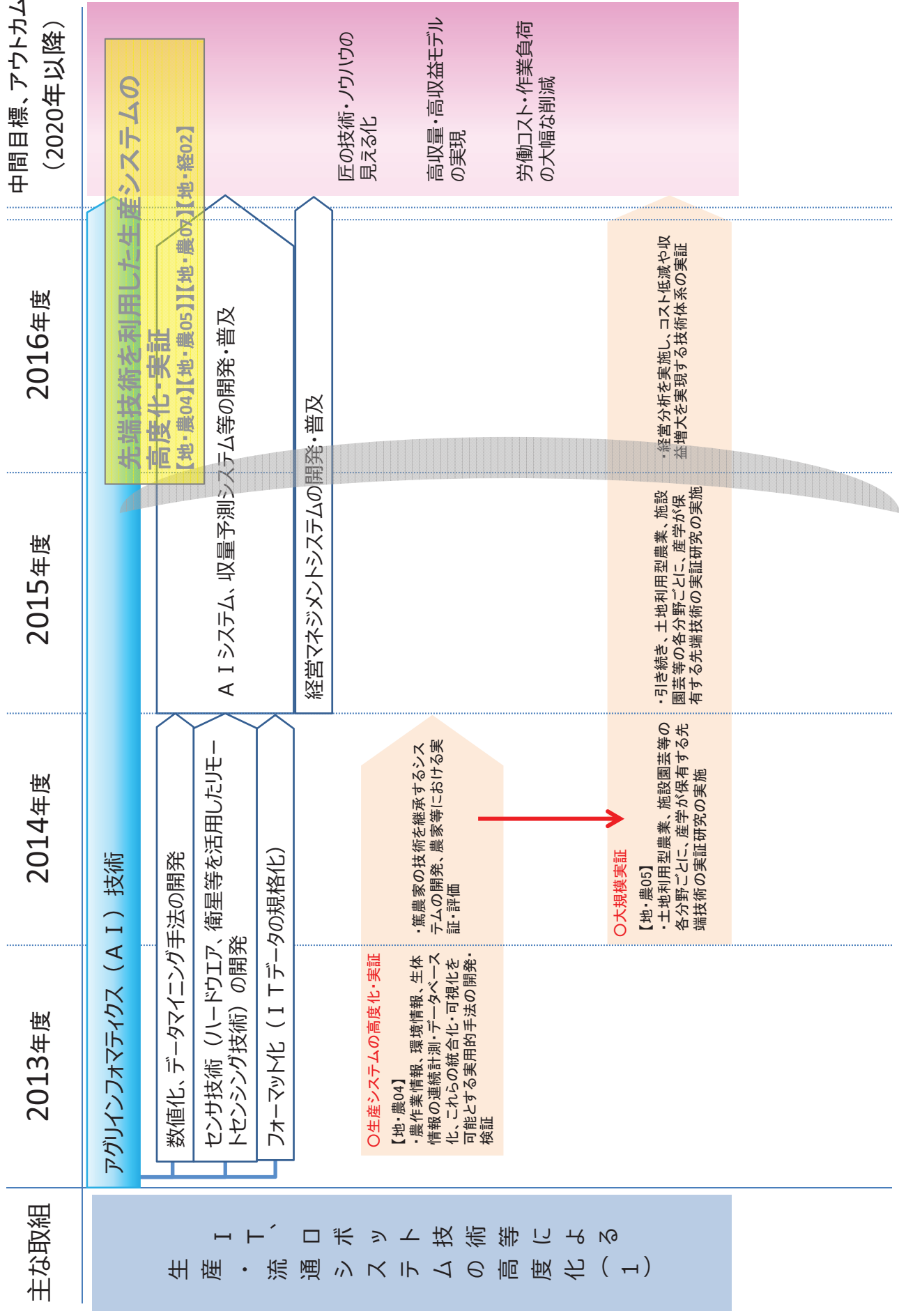


IT・ロボット技術等による農林水産物の生産システムの高度化

地域資源(3)

中間目標、アウトカム
(2020年以降)



主な取組

生産・流通システムの高度化(1)

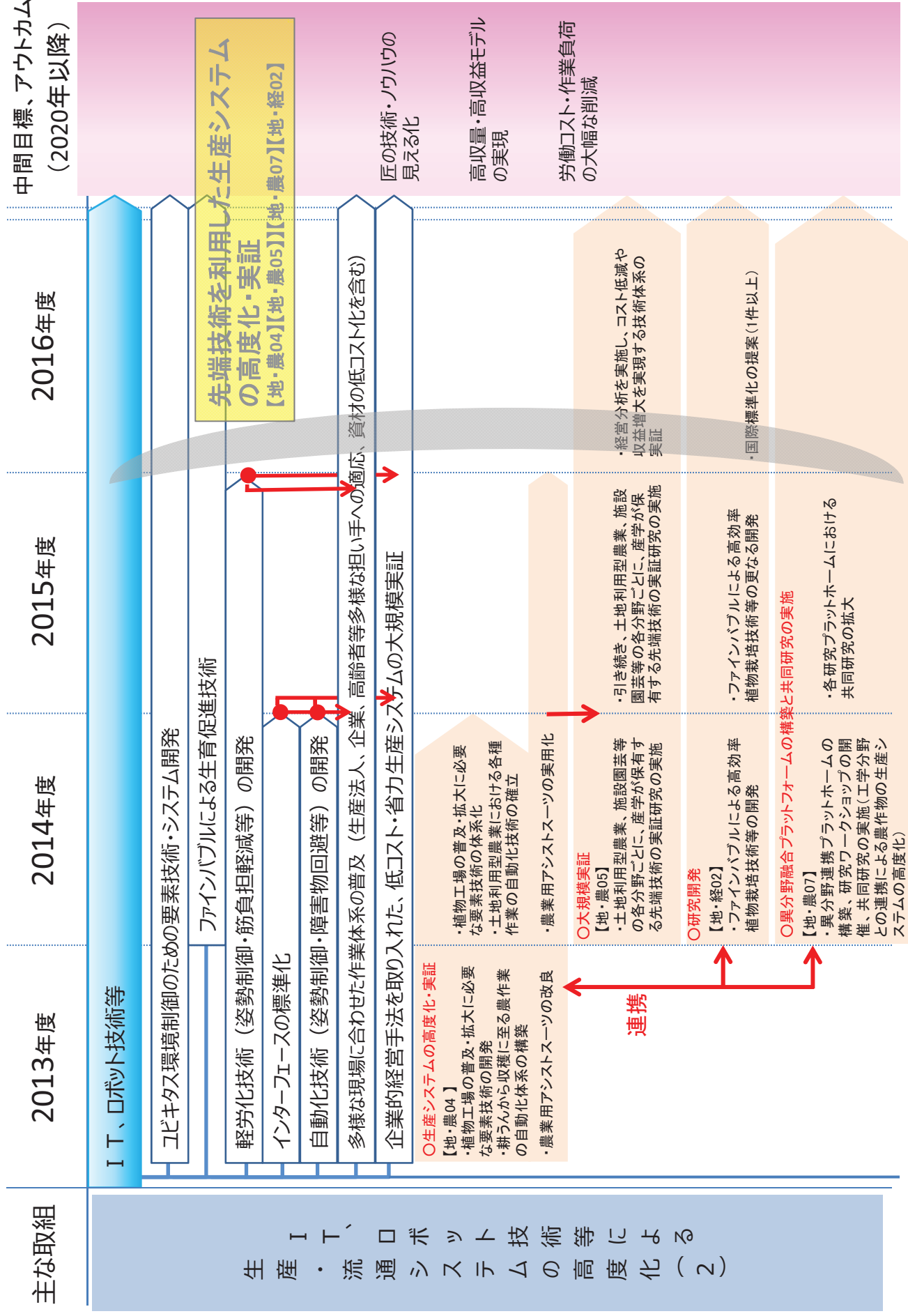
・篤農家の技術を継承するシステムの開発、農家等における実証・評価

・引き続き、土地利用型農業、施設園芸等の各分野ごとに、産学が保有する先端技術の実証研究の実施

・経営分析を実施し、コスト低減や収益増大を実現する技術体系の実証

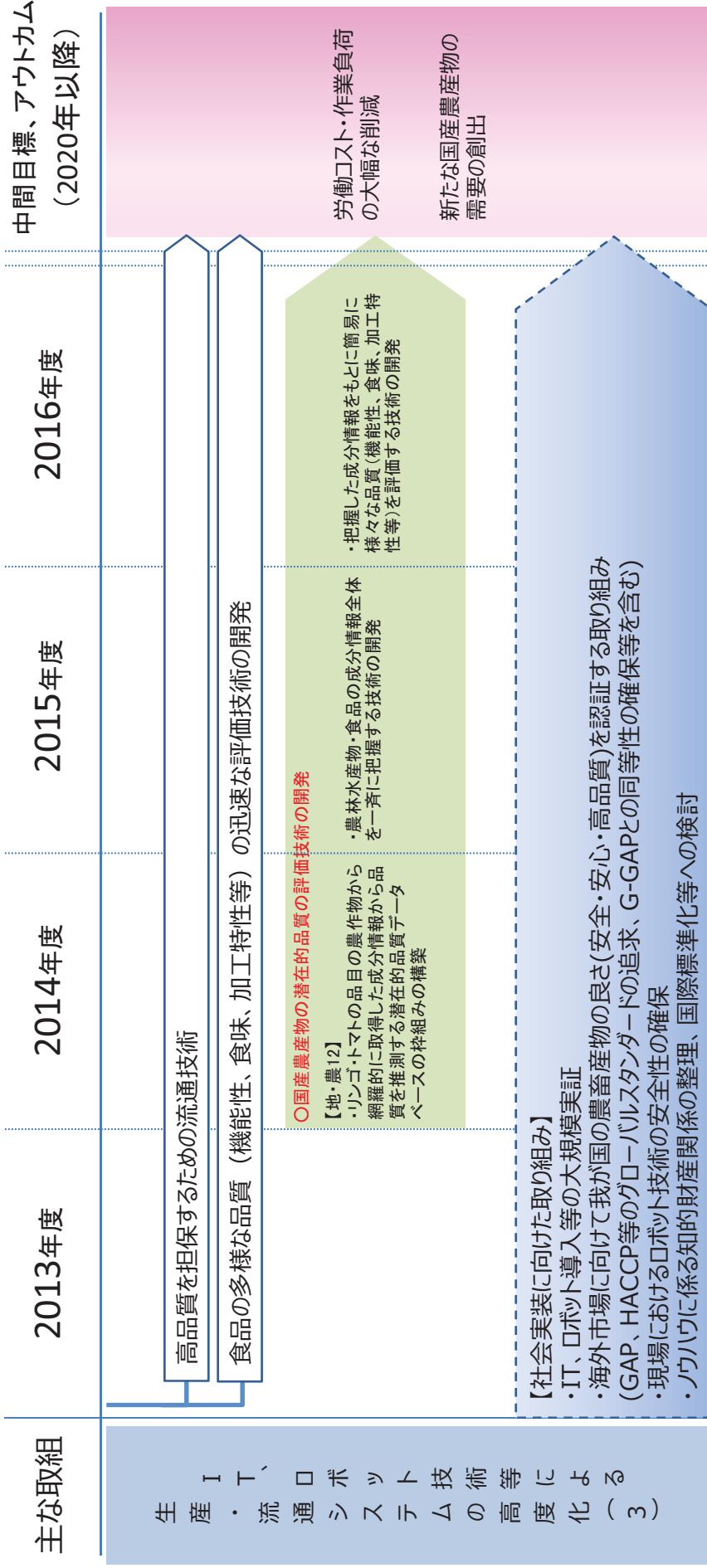
IT・ロボット技術等による農林水産物の生産システムの高度化

地域資源(3)



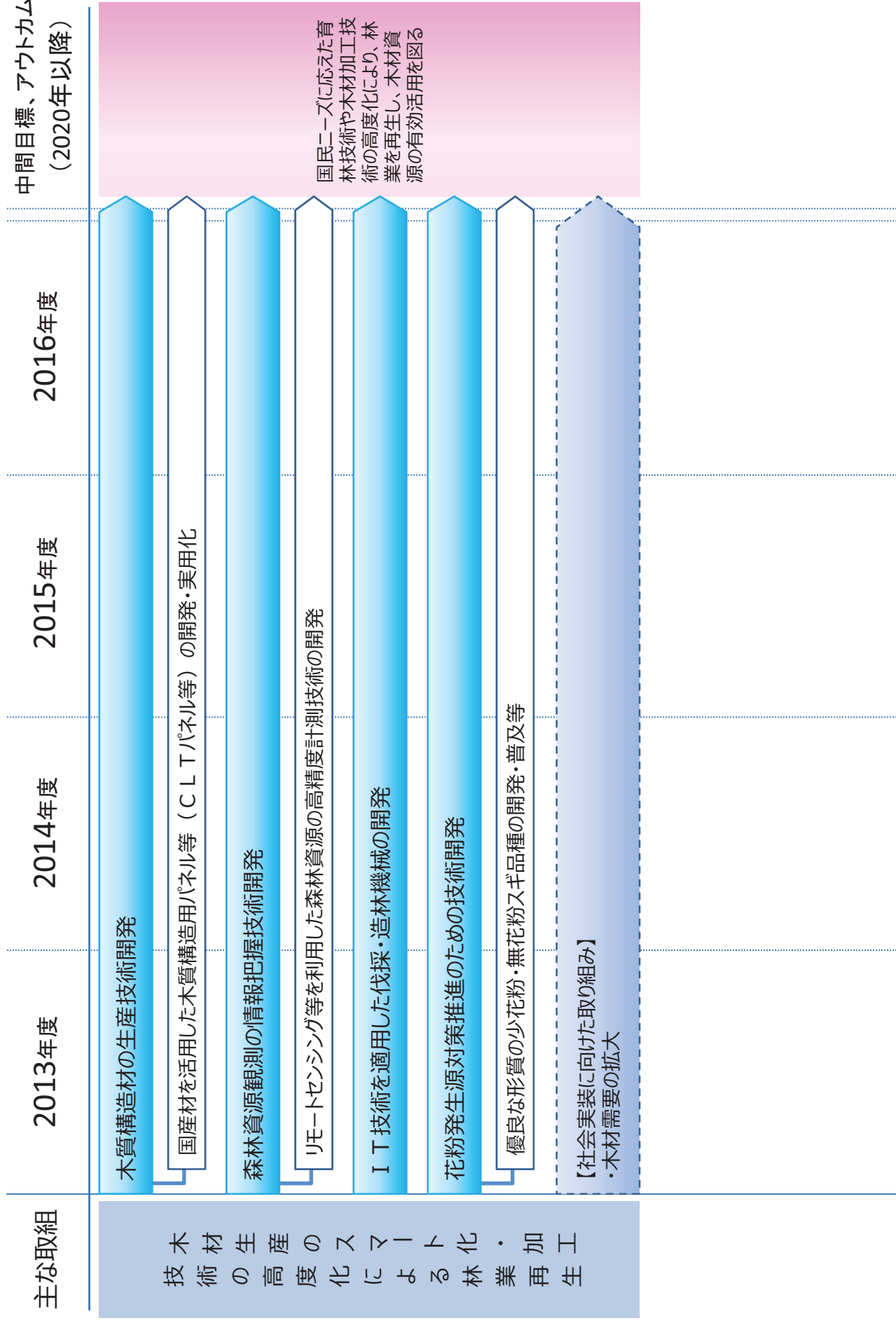
IT・ロボット技術等による農林水産物の生産システムの高度化

地域資源(3)



IT・ロボット技術等による農林水産物の生産システムの高度化

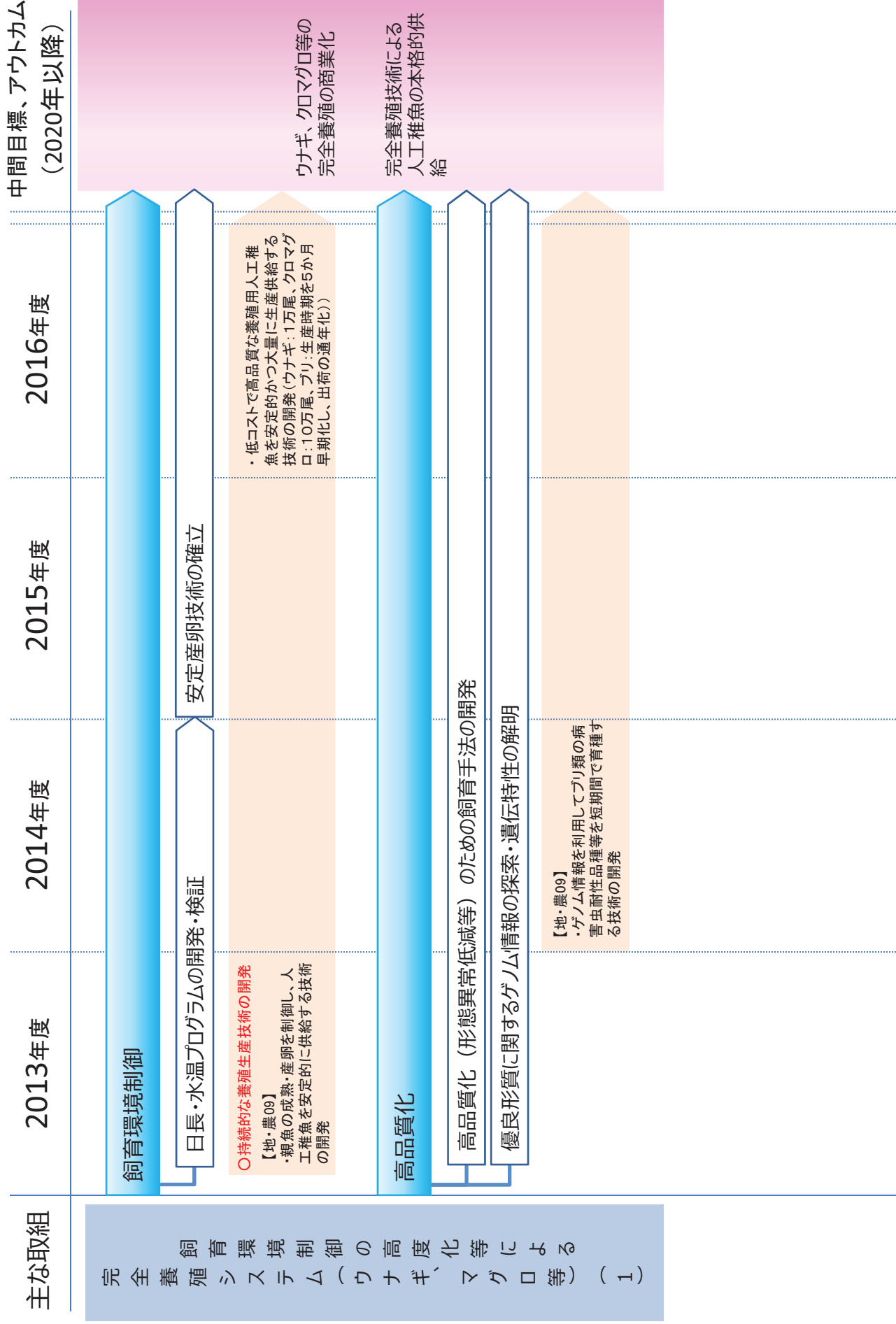
地域資源(3)



IT・ロボット技術等による農林水産物の生産システムの高度化

地域資源(3)

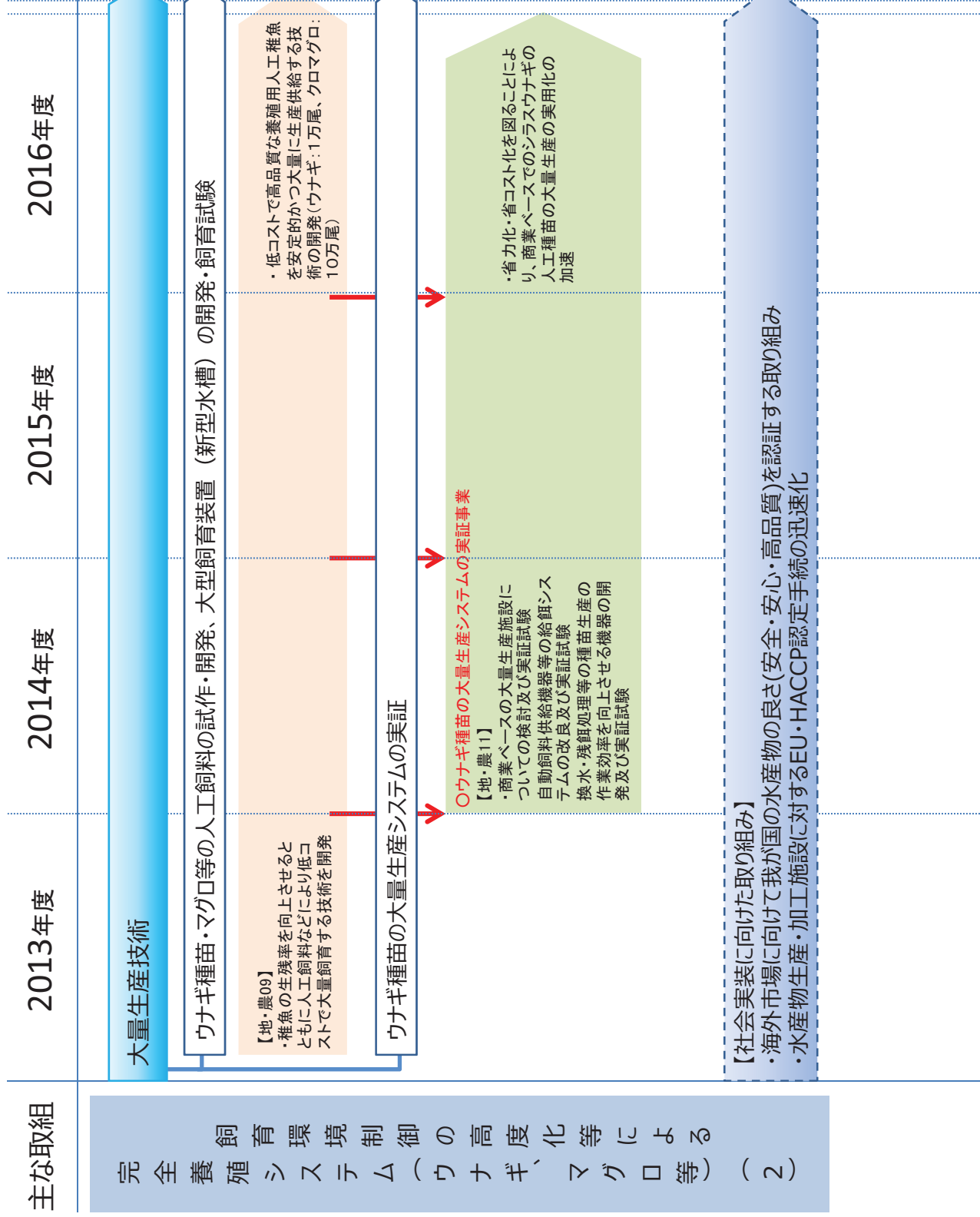
中間目標、アウトカム
(2020年以降)



IT・ロボット技術等による農林水産物の生産システムの高度化

地域資源(3)

中間目標、アウトカム
(2020年以降)



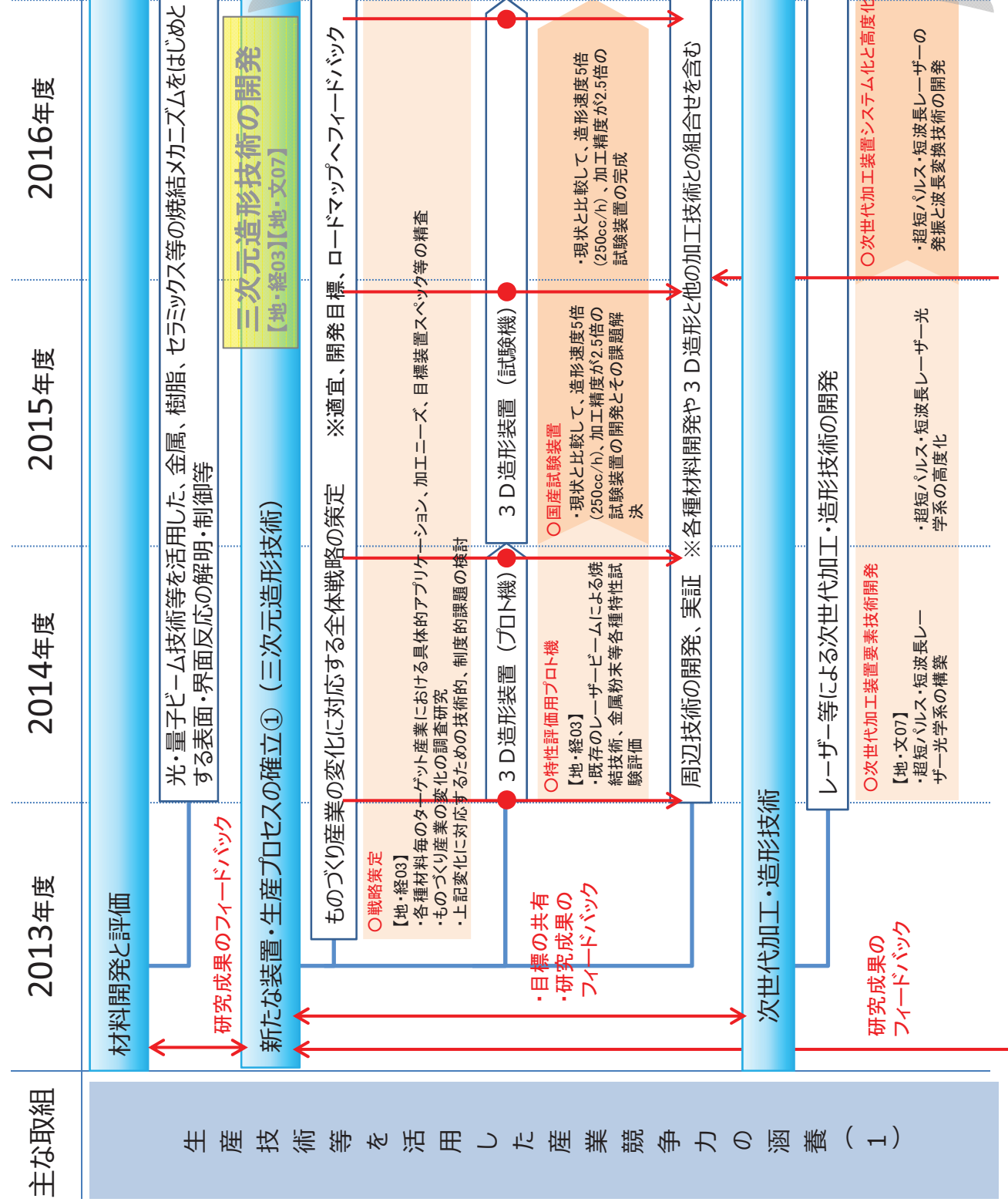
完全養殖システム(ウナギ、マグロ等) (2)

飼育環境制御の高度化等による

生産技術等を活用した産業競争力の涵養

地域資源(4)

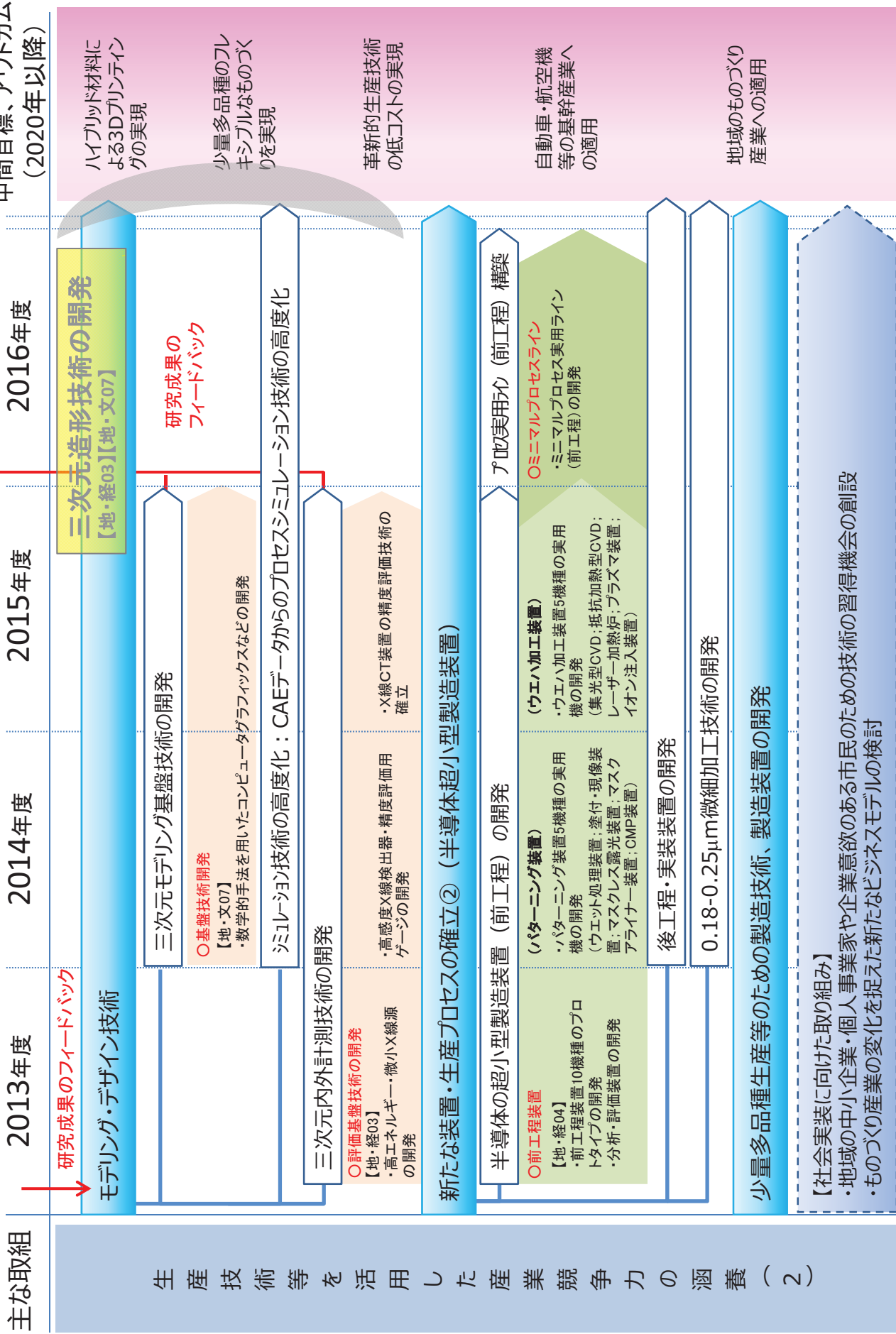
中間目標、アウトカム
(2020年以降)



生産技術等を活用した産業競争力の涵養

地域資源(4)

中間目標、アウトカム
(2020年以降)



ハイブリッド材料による3Dプリンティングの実現

少量多品種のフレキシブルなものづくりを実現

革新的生産技術の低コストの実現

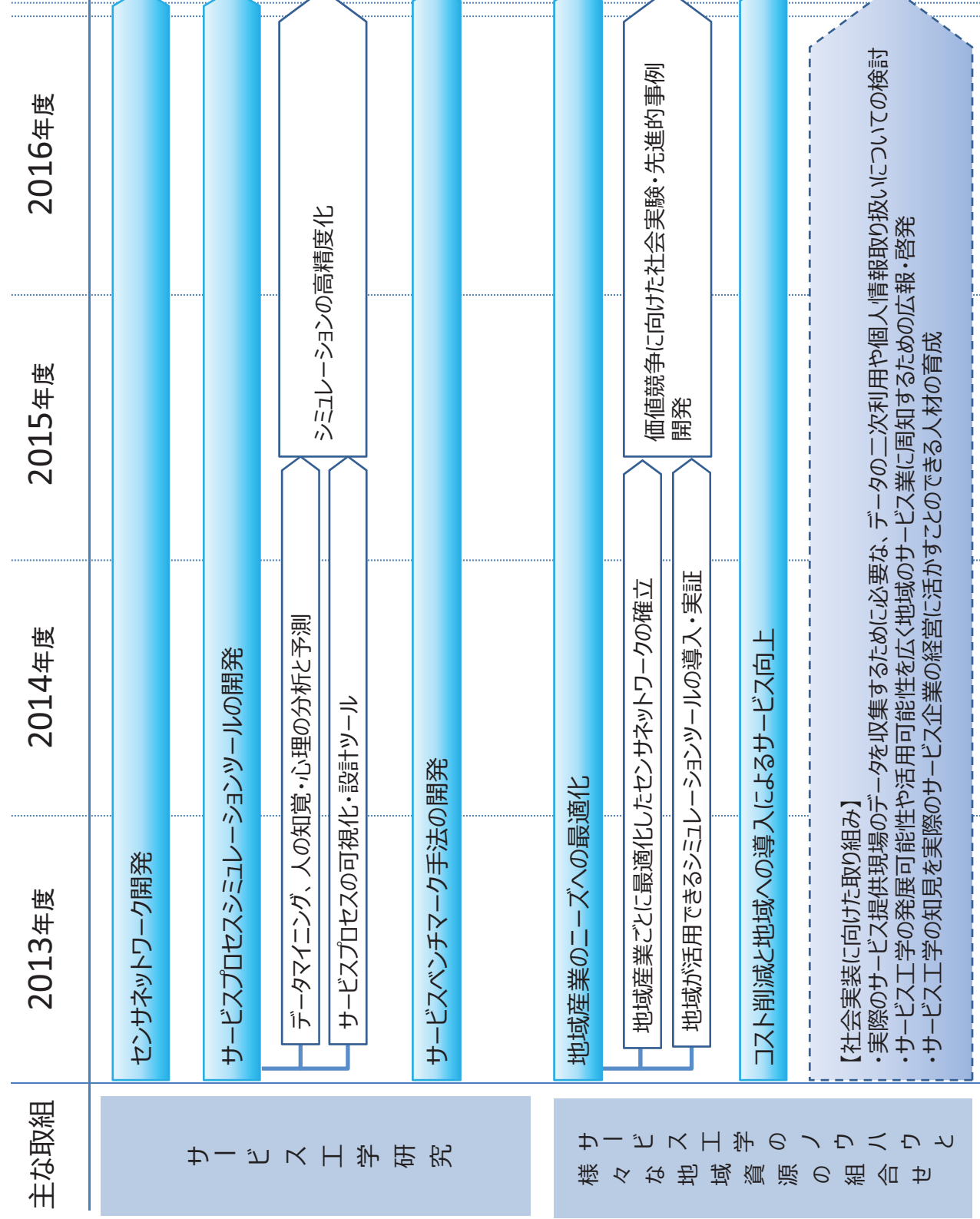
自動車・航空機等の基幹産業への適用

地域のものづくり産業への適用

サービス工学による地域ビジネスの振興

地域資源(5)

中間目標、アウトカム
(2020年以降)



地域の産学官が連携した研究開発や地域経済活性化

地域資源(6)

中間目標、アウトカム
(2020年以降)

2013年度

2014年度

2015年度

2016年度

主な取組

地域の特色に応じた各種支援制度の推進

地域の産学官が連携した研究開発の促進

○持続可能な多世代共創社会のデザイン

【地・文09】

- ・新規研究開発課題の採択(重点的取組課題の例:『有効活用されたこなかつた地域資源の発掘と活用』、『環境に調和しつつ地域の資源・経済を循環』等)

- ・前年度採択研究開発課題の実施及び相互の連携調整
- ・新規研究開発課題の採択(2回目)

- ・前年度、前々年度採択研究開発課題の実施及び相互の連携調整
- ・新規研究開発課題の採択(3回目)

地域の“強み”を活かした地域活性化

【地・文08】【地・総01】【地・農06】

企業立地・海外展開・販路開拓・施設整備・研究開発・人材育成確保等

「地域イノベーション戦略推進地域」を関連省庁で共同選定し、各省の施策を組み合わせた支援を実施する。

○地域のイノベーションシステムの構築支援

▼本格運用開始

【地・文08】

- ・地域資源等を活用し、近隣地域の大学・公的研究機関・産業界等が連携・研究開発に取り組む「場」を構築する。
- ・地域の活力を取り戻すとともに、地域における産業競争力の強化や、地域産業の発展による雇用の創出、地域経済の活性化を実現する。

▼仕組みの見直し

▼仕組みの見直し

○農林水産分野の技術開発支援(提案公募型の競争的資金)

【地・農06】

- ①シーズ創出ステージ、②発展融合ステージ、③実用技術開発ステージごとに研究課題を公募し、基礎段階から実用化段階までの研究開発を継ぎ目なく支援する。
- ・①、②に関しては、実施テーマの90%について、将来的に活用される優れた研究成果を創出する。
- ・③に関しては、実施したテーマの90%について、生産現場等で実用化が可能な技術的成果を創出する。

【地・農06】(2014～)研究区分の新設
(「育種対応型(地域の農産物の「強み」を生み出す品種育成)」)

○情報通信分野の技術開発支援(提案公募型の競争的資金)

【地・総01】

- ・情報通信分野において、地域や研究開発実施者に主体性のある先端技術の研究開発を支援する。
- ・課題選定の評価基準に、地域固有の課題を解決する視点、地域産業の振興、新規事業の創出等の地域の視点を盛り込む。
- ・課題終了後の外部専門家による評価において、当初の見込みどおりかそれを上回る成果があったと判断される課題の割合を80%以上にする。

若手研究者を企業等に派遣し、人材育成・研究開発を推進する産学連携スキームを構築

オンラインやバンパワンの技術を活用し地域の特色に応じたクラスタの組成と取組の推進

地域の産学官が連携した研究開発の促進

地域の産学官が連携するシステム構築の取組

地域の特色に応じた研究開発・実用化の促進

地域における新産業
クラスタの拡大

研究成果の事業化
推進

地域の産学官が連携した研究開発や地域経済活性化

地域資源(6)

中間目標、アウトカム
(2020年以降)

2016年度

2015年度

2014年度

2013年度

主な取組

各クラスターにおける高度研究開発人材・ノウハウ・企業情報等の蓄積

各クラスターにおける成功事例の蓄積

クラスター内の新たな技術シーズの源泉となる優れた研究者の
発掘・育成・確保

各クラスターにおける高度研究開発人材・ノウハウ・企業情報等の蓄積

クラスターの強みを活かした広域連携のための仕組み作り

各クラスター間における広域連携プロジェクトの推進

広域地域におけるイノベーション創出

○広域地域における戦略的な研究開発人材、シーズ、ニーズの発掘と連携強化によるイノベーション創出

▼ 仕組みの見直し

【地・文08】

- ・国として強化すべき分野(地域)を特定し、各省連合のプロジェクトチームを編成して支援を行う。
- ・地域資源等を活用し、近隣地域の大学・公的研究機関・産業界等が連携・研究開発に取り組む「場」を構築する。
- ・地域の活力を取り戻すとともに、地域における産業競争力の強化や、地域産業の発展による雇用の創出、地域経済の活性化を実現する。

▼ 仕組みの見直し

地域の“強み”を活かした地域活性化
【地・文08】【地・総01】【地・農06】

それぞれの強みを
活かした地域経済
の活性化

【社会実装に向けた取り組み】

・エンジェル税制等、各種税制度の活用

地域を超えた産学官連携の促進